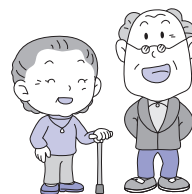




# 地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター ☎ 47-8009  
 地域包括サブセンター(今庄) ☎ 45-1170  
 地域包括サブセンター(河野) ☎ 48-2260



## 防ごう！「高齢者虐待」～地域での見守り体制について～

高齢者虐待は家庭内で発生することが多いため、周囲から気づかれにくい傾向があります。また、虐待を受けている高齢者のなかには、「家族に迷惑をかけている」という負い目や認知症などで自分からSOSを出せない高齢者もいます。虐待をしている家族にその自覚がないことも少なくありません。そのため、高齢者虐待は早い時期に周囲が気づき、周囲からの声かけや必要に応じて第三者が介入することで、虐待の悪循環を防ぐことが出来ます。

高齢者や介護している人たちが孤立しないように、地域のなかで「あれ？」「もしかして…」と思う高齢者や家族がいる場合は地域包括支援センターまでご連絡ください。相談者の秘密は厳守され、訪問等にて高齢者の状況把握や家族支援を行います。

### こんなサインに気づいたらご相談を！

- 今まで挨拶していたのに、急にしなくなった
- 地域の集まりや行事に参加しなくなった
- 髪の毛や服装が乱れるようになった
- 身体に小さな傷やアザがあり、理由を聞いても話したがない
- 顔色が悪く、具合が悪そうなのに受診している素振りがない
- 家族が、高齢者に対して過度に乱暴な口のきき方をする
- 家から高齢者や家族の怒鳴り声や悲鳴が聞こえる
- 訪問しても、高齢者に会えなかったり、会うのを嫌がられる



# 流動創生

町内滞在企画「ストップオーバー 秋の素材で小商い」を11月8日～30日の期間で開催しました。

都市部に住む方々が町内に数日滞在し、つるし柿づくりや今庄宿で行われた酒蔵ふえすのお手伝い、畑作業、お惣菜作り、野菜の移動販売などを行いました。

滞在者には今回初めて来町された方が3名、すでに何度も町を訪れて地域活動のお手伝いをされてきた方も2名いました。

町外滞在企画ラウンドトリップで初めて南越前町を訪れ、その後も継続的に南越前町に滞在し地域活動のお手伝いをされている京都在住者の方は「流動創生事業を知ってから南越前町を訪れるようになった。顔なじみのももできて楽しい。今後も定期的に訪問したい。」と話されました。

他の滞在者の方々も「次に来るときは畑作業を教えてくださいました方の家に泊まることになった。」「酒蔵のお手伝いをさせてもらうことになった。」などと話され、今後の滞在につながる機会となったようです。



■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013 流動創生 検索